

文教厚生委員会 視察レポート

令和4年4月15日 大津町給食センター 研修テーマ 「～安定的な学校給食の提供を～」



二市二町の学校給食の状況

合志市		給食回数	一食単位	年 額
楓の森小学校・中学校	小学校	196回	260円	50,960円
	中学校	191回	300円	57,300円
菊陽町	小学校	193回	245円	47,285円
	中学校	189回	291円	54,999円
菊池市	小学校	196回	250円	49,000円
	中学校	192回	295円	56,640円
大津町	小学校	188回	238円	44,744円
	中学校	188回	267円	50,196円

大津町の学校給食について、実際に試食をし、学校給食及びセンターの運営状況について意見を伺いました。まず、試食において大変美味しく量も概ね丁度良かったが、中学三年生等の放課後に部活動を行う生徒にとっては少ないのでは、と感じたところです。

学校給食における原材料について、学校給食会からの仕入れ割合が高いが、地元で揃う野菜などにおいては地産地消の観点から地元で調達しているとのことでした。

次に、センターの状況は、4年前に大規模改修を行ったが、アレルギー対応食数の増加や、少人数学級の導入により、今の施設では、調理能力はほぼ限界に達しているとのこと、今後、何らかのトラブル発生時や人口増が予測されることから新たな施設の必要性を委員から訴えました。年間の給食回数については、近隣自治体より少なく、給食費が安いことが関係しているのではないかと。また、滞納の状況や公会計の導入についての問いに、回数増の意見があれば、校長会や運営委員会で協議を行っているとのこと、そこで諮っていきます。

滞納状況については、就学援助の利用や平成27年度より口座振替を導入したことにより、滞納額については年々減少し、学校側の負担も軽減されている。とのことでした。

文教厚生委員会 意見交換会

歴史文化を生かしながら、どのようなまちづくりを進めていくのかを明確にすべき

令和4年4月20日(水) 10時より、まちの歴史文化関係団体との意見交換会を開催しました。

- 議題
- ① 歴史文化伝承館の取り組み
 - ② 令和4年度の町の歴史文化に関する取り組み

住民より

① 町が歴史文化関係にかけた予算に対してどのような成果が生まれているのか気になった。まずは、予算をかける目的として歴史文化を生かしながらどのようなまちづくりを進めていくのか明確にすべきではないか。

② 歴史文化を生かしたまちづくりをすすめるにあたり、具体的にどういうことを中心軸として、どういう組み立て方にして、どういう風に成果を積み上げるのかという議論をして整理した方が良く、町が実施した取り組みについて質疑・意見を繰り返していても代わり映えしないのでは。テーマ性のある議論をしながら組み立てていくべきではないか。

委員より

① 歴史・文化については、教育や福祉に比べ、町民の関心の薄いところかもしれないが、郷土愛、地域愛を育ていくため広く伝えていく必要があると感じている。今回まで数回の意見交換会を行ってきたが、最終的に成果が出せるよう引き続き取り組んでいきたい。

② より良い伝承館の在り方や大津町の歴史・文化をどう発信していったら良いか詰めて次回に提案させていただきたい。

執行部より

町の振興総合計画に基づき、歴史文化伝承館の目標としては、まず来館者数を増やし、町民の方に町の歴史を知っていただくことを目標としている。そのために、今年度より副館長の配置や新規学芸員の採用など職員の体制を整備したところである。ガイド育成などの取り組みの方向性や今後のスケジュール等については、今から皆さんと協議しながら、意見を取り入れつつ決めていきたいと考えている。

